

中期経営計画「中計2019」 (2019～2021年度) モーターサイクル&エンジンカンパニー

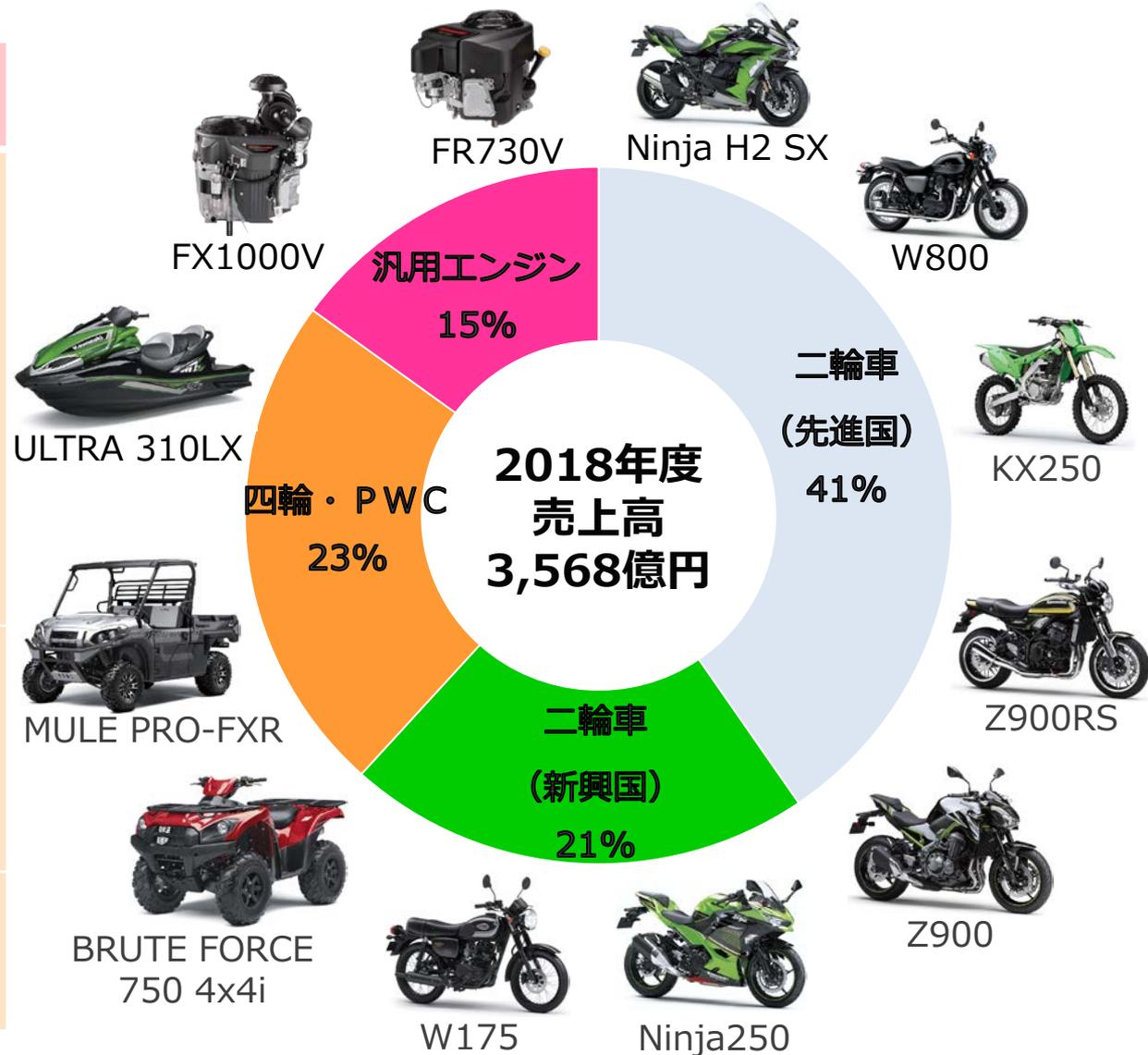
2019年10月2日

川崎重工業株式会社

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. セグメント概要 | P3 |
| 2. 中計2019における事業戦略 | P4-9 |
| 3. 中計2019数量目標 | P10-11 |
| 4. 2030年度までの長期的方向性 | P12 |

モーターサイクル&エンジンカンパニーの概要

製品	主要製品
二輪車	Ninja H2 SX Z900RS W800 KX250 Versys1000 Vulcan S
四輪 PWC	MULE PRO TERYX BRUTE FORCE ULTRA 310
汎用 エンジン	FRシリーズ FXシリーズ



モーターサイクル&エンジンカンパニーの事業戦略

事業環境

- 新興国二輪市場（インド・ベトナム等）の成長
- 米国四輪市場の成長
- 先進国二輪市場は高齢化により成熟
- 米国芝刈関連市場(汎用エンジン)の成長
- 自動運転の普及、電動化・ハイブリッド化の進行



TERYX EPS LE

当社の強み

- 高性能、高品質な製品を開発・生産する技術力
- 確立された販売・サービス網
- 米国各拠点網（開発・生産・販売）を活かした汎用エンジンOEM先への対応力・信頼関係



FX850V-EFI

課題

- プレミアムブランド追求とキャッシュ創出
- 成長分野の強化と固定費の抑制による収益力の強化
- B to B基盤拡大による事業の安定

新世代シャーシ



モーターサイクル&エンジンカンパニーの事業戦略

全体方針(2019-2021)

1. カンパニー経営方針

Kawasakiブランドを担い、適正な事業規模で安定的に収益とFCFを創出する

2. 全社重点課題に対する中計期間の取り組み項目

収益力向上・キャッシュ創出

- ・新機種の継続的な投入による製品競争力の向上
- ・注力市場を絞った上で新興国市場を開拓
- ・固定費抑制に向けた一層の経営効率化
- ・在庫管理の徹底

ビジネスモデルの革新

- ・部品用品ビジネス等周辺事業の拡大

為替耐性の強化

- ・円コスト比率の低減による為替リスクの低減、販価への反映の推進

3. カンパニー独自の取り組み・重点課題

ブランド力の強化

- ・効率的・効果的なマーケティング活動を世界統一戦略の下で実施
- ・カスタマーリレーションの強化 (CRM)

新技術の開発

- ・ハイブリッド、電動化の研究開発を推進、自動運転環境に適した製品の開発

製品・市場別事業戦略

施策

事業ステージ：安定・回収

中計期間中の役割：収益力向上

二輪

先進国でフリーキャッシュフローを確保、成長分野（新興国二輪）を強化

- ・先進国向モデルは開発規模を維持、最新技術を採用し製品競争力を維持、ブランド力を強化し利益率を向上させる
- ・新興国は優先順位付けを行った上で有望市場へ挺入れを実施
- ・パイプライン在庫を適正な水準に管理
- ・ハイブリッド・電動化モデルの試作・テストを推進、コネクティッド技術の実装



2019鈴鹿8時間耐久ロードレースにて、26年ぶり2度目の優勝を果たした。

製品・市場別事業戦略

施策

四輪
・
PWC

事業ステージ：安定・回収

中計期間中の役割：収益力向上

モデルラインナップの拡充、製品競争力の強化により拡販

- ・ 四輪は、開発資源の重点配分によるモデルラインナップ拡充、多用途化（消防向けなど一般消費者向け以外を含む）への対応、アクセサリーの充実により事業規模を拡大



**小型オフロード消防車 Red Ladybug
(当社の MULE PRO-FX EPSがベース車両)**



TERYX4 EPS

製品・市場別事業戦略

施策

汎用
エンジン

事業ステージ：安定・回収

中計期間中の役割：安定収益確保

生産能力を拡充し拡販

- ・北米における生産体制を拡充
- ・OEM先との連携関係を強化し販売を拡大



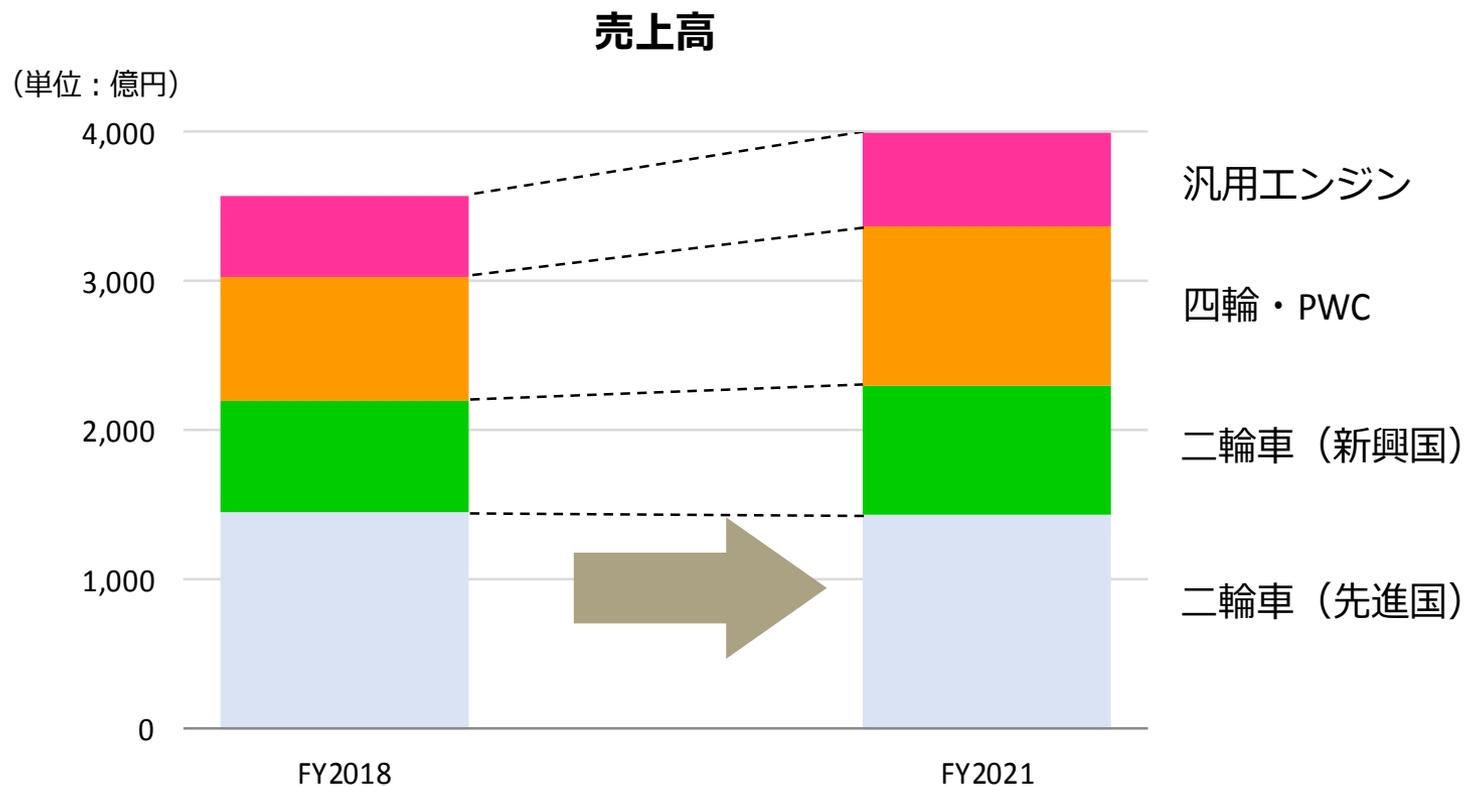
FT730V-EFI



FR730V

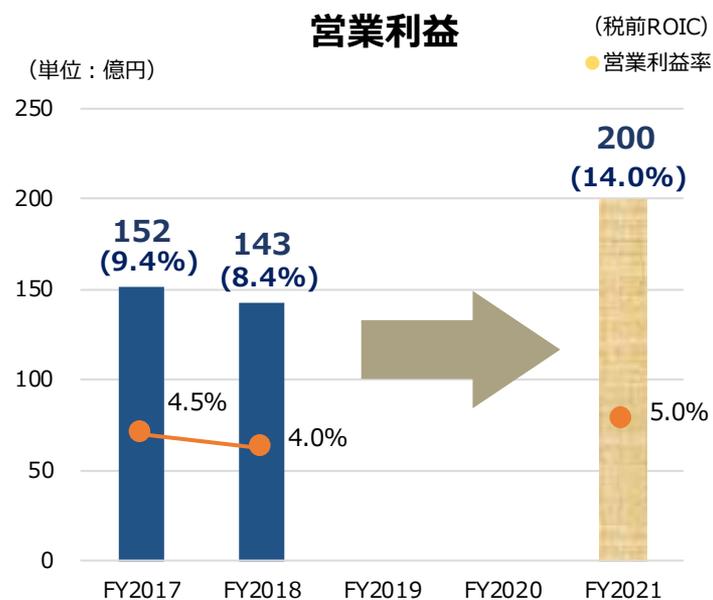
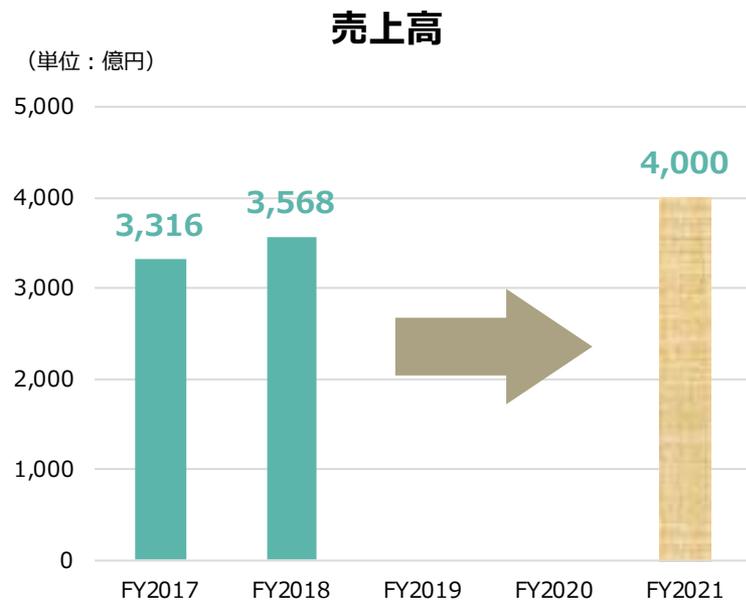


製品・市場別事業戦略



- 二輪車 (先進国) は現状の水準を維持
- 二輪車 (新興国)、四輪・PWC、汎用エンジンの売上が拡大

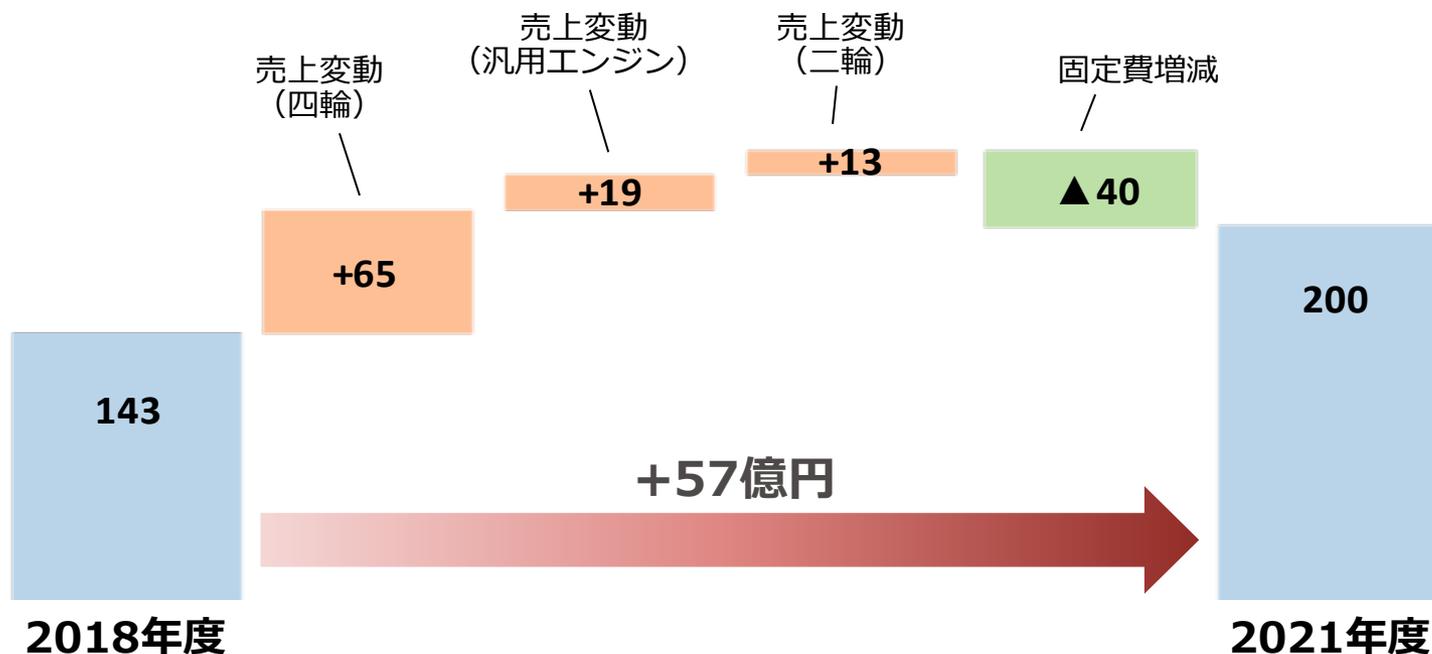
中計2019数量目標



- ・ 四輪モデルラインナップの拡充、汎用エンジンの生産拡大により売上高は増加
- ・ 固定費上昇を管理することにより営業利益を拡大

営業利益改善の施策

- 2018年度実績: 143億円 ⇒ 2021年度計画: 200億円

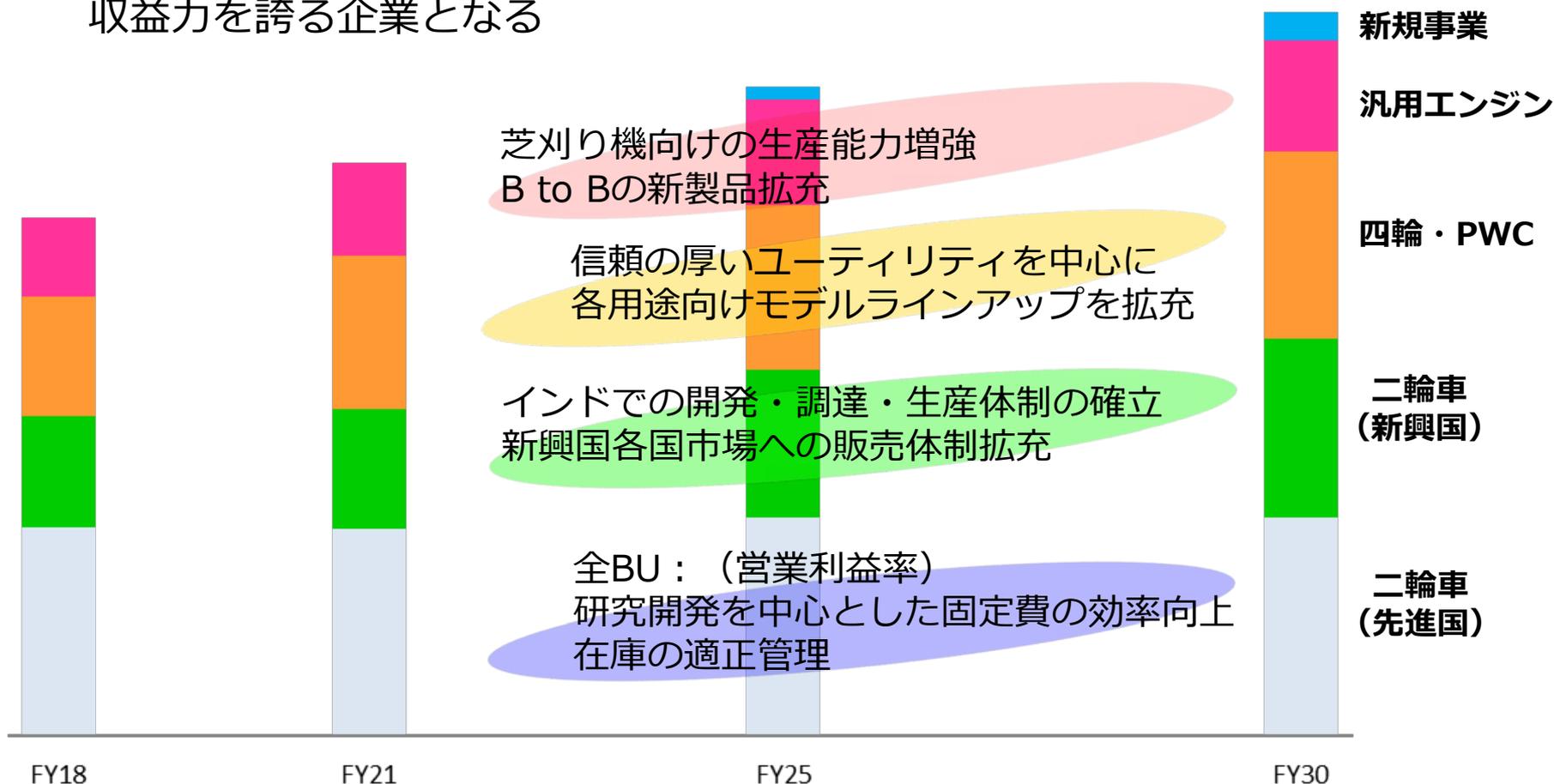


- 四輪、汎用エンジンの拡販により営業利益を上積み
- 固定費増加を抑制し2021年度営業利益200億円を計画

2030年度までの長期的方向性

カンパニー全体方針(中長期)

Kawasaki, working as oneの理念のもと、① デマンドチェーン改革、② 製品競争力向上改革、③ サプライチェーン改革を発展させ、高い収益力を誇る企業となる



世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する

“Global Kawasaki”